

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2022年 11月 1日発行
第 6号
広島女学院中学高等学校

聖書のことば

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値のあるものではないか。
マタイによる福音書 6章 26節

朝晩の冷え込みが厳しいせいか、中高間の道路の桜の木が見事に紅葉しています。11月3日の文化祭に来られる保護者の方は、どうぞ、紅葉の美しさもお楽しみください。

今年の2学期は、中3の長崎研修旅行、高2の沖縄修学旅行に始まり、文化祭の準備や部活動など、忙しい毎日が続いています。そんな中、水曜日はノークラブデーですので、文化祭のクラス参加の準備は、たくさんの生徒が参加して取り組むことができます。そこでたくさんの笑顔は、この時にしかないとても貴重なものです。その豊かな時を持つことができていることに、心から感謝します。

一方、授業中の生徒の様子は、真剣に一字一句を身にしみこませるような姿勢があります。学校で行われている、一つ一つが、一人ひとりの生徒を磨き上げていき、優しくしなやかに成長することにつながるよう祈ります。

しかし、この休むこともままならない生活の中で、思うようにいかないこと、自分の取り組みを認めてもらえないことなど、苦しい時、悲しい時となっていることもたくさんあると思います。聖書のことばには、そんなにあくせくしなくても、優雅に空を飛ぶ鳥をみなさい、とありますが、種を蒔き、刈り入れをし、倉に納める私たちは、本当に鳥より価値があるのだろうかと思ってしまいます。そして、どんなにたくさん倉に納めてもまだ足りない幸せを追い求め、疲れはてていることもあるかもしれません。

このような、喜びや感謝、そして苦しみや悲しみがある一日を精いっぱい生きるのですが、そのすべてが神様から与えられていること、そのすべてに神様が共にいてくださることを覚えたいと思います。

イエス様は、「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。(マタイによる福音書 6章 34節)」とされています。

(校長)



創立 136 周年創立記念礼拝

9月24日(土)、勝部禎文先生をお迎えして、特別礼拝が持たれました。勝部先生は、渡辺現校長の前々任者で、2002年度から2009年度まで、校長として、上空通路や高校校舎の建築に尽力されました。先生のご体験と女学院の歴史を通して、次のようなメッセージをいただきました。

「今年で136周年を迎える女学院の歴史には、二つの原点がある。一つは、創立をめぐる生き生きとした物語で、様々な人の協力があったが、その中心にゲーンズ先生がおられた。

女学院は初めからこの校地に建てられたわけではなく、何回か場所を移したが、ゲーンズ先生が来られた時は細工町、現在の原爆ドームのすぐ横にあった建物を使っていて、そこからゲーンズ先生の働きが始まった。「われらは神と共に働く者なり」(コリントの信徒への手紙一 3章9節)という学院聖句は、逆に言えば「神様が共に働いて下さっている」ということであり、そこに大きなパワーの源があったのではないか。

もう一つの原点は、創立59年目、1945年8月6日に投下されて原子爆弾によって、350余名の生徒・教職員が犠牲になったことである。女学院では平和教育を大切にしてきたが、核兵器廃絶のために活躍している在校生・卒業生を見て励まされる。

現在、私たちの周りにも、世界規模でも様々な問題がある。過去から学び、礼拝や人との出会いを通して、自分の価値観・倫理観を作り、物事を見抜く目を養ってほしい。」

中学では、中高間を移動する生徒の安全のために、上空通路を作ろうとした時の苦労とできた時の喜びを語って下さり、私たちの学校生活が、ゲーンズ先生をはじめ、多くの人々の祈りと労苦と生徒を思う愛によってつくられてきて、今あることを思われました。

(宗教教育委員会)

安田登先生 特別授業

今年度の文化講演会に講師としてお迎えした安田登先生(能楽師)の特別授業が、9月29日に行われました。講演中に「今度、授業させてください!」とおっしゃったことが、なんと3か月後に実現しました。今回は、チェロ奏者新井みつこさんとのコラボレーション。甲骨文字の話にはじまり、能面の歴史まで。立見も出るほど人の集まった会場は感嘆と爆笑が交互に起こり、6月とはまた異なった熱気につつまれていました。

前回は琵琶とのコラボで拝聴した夏目漱石の「夢十夜」を、今回は西洋楽器のチェロに合わせて踊っていただきました。そこで、サプライズ! 数々のコンクールで受賞経験のある高3生H. Jさん もピアノで演奏に加わり、和洋折衷の「能」が、世界で初めて上演されたのです。

今回、この特別授業のために安田先生が用意して下さったレジュメは8ページ。あまりの盛り上がりで、進んだのは1枚目のみ…。ということは、あと7回、安田先生が来てくださるといふことなのかもしれません。

安田先生、新井さん、本当にありがとうございました。





チェロとピアノ演奏をバックに、能を舞う安田先生



超満員の会場で講義する安田先生

(国語科)

中1遠足

10月6日(木)は4限から6限にゲーンホールでバイブルデイキャンプを行いました。映画ジーザスを見た後、各グループで作成した聖書劇を各クラスの代表が発表しました。

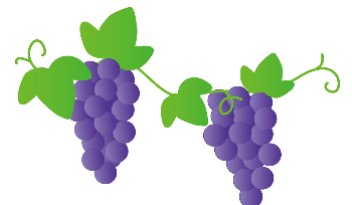
10月7日(金)は、もみの木森林公園に行ってきました。あいにくの雨のためクラスマッチは体育館でしたが、旅行係の生徒たちが学年全員が参加できるよう企画・準備してくれた「いろいろリレー」と「じゃんけん列車」を行って、楽しく学年の交流を深めました。総合順位は、これまでも何か行事があるたびに1位を独占してきた1組で、学年のトロフィーはまた1組に戻っていきました。クラスマッチが終わる頃に雨は上がり、思い思いに公園を散策しながらお弁当を食べ、自由な時間を過ごしました。



生徒たちの「雨があがったから、予定時間まで遊びたい」という熱い希望を振り切り、寒さで身体が冷え切る前に早めに学校に戻ってきました。(中1学年会)

中2遠足

中2の遠足では学年全体で平田観光農園に行きました。出発前には雨が降っており、無事に果物狩りができるか不安に思っていたのですが、到着と同時に雨も止んでくれました。恐羅漢登山に引き続き天気恵まれました。収穫した果物はチケットと交換して持ち帰るシステムで、どうやったらうまくチケットを使いきれぬか考えながら園内を散策しました。ナシやリンゴ、ブドウにマスカットなどの果物がたくさん実っており、その中からお気に入りのものを見つけるのは大変だったようです。秋の味覚に癒された一日になりました。(中2学年会)



中学3年長崎研修旅行

2・3・4組は10月5日(水)～7日(金)、1・5組は6日(木)～8日(土)に長崎研修旅行へ行って参りました。この中学3年生は、入学時にコロナ禍真っ只中だったため、あらゆる行事が中止となり、涙をのんだ学年でした。そのため、今回の長崎研修旅行は、生徒にとっても、教員にとっても、喜びを噛み締めるひとときとなりました。

女学院での宿泊をとまなう行事が初めてでしたので、早朝の礼拝や集合時間がきちんと守れるかなど様々な心配をしておりましたが、全行程を通して時間に遅れた生徒は1人もおらず、それらはすべて杞憂に終わりました。

長崎平和資料館、山里小学校、城山小学校、などの平和公園周辺の施設では長崎の原爆について学びました。語り部さんの話では、みな、身を乗り出して、非常に熱心に聞いていました。各自が「平和を守っていかなければいけない」、「私たち一人一人が平和を創り出す人にならなければいけない」と固く決意する時間となりました。

市内班別研修では、グラバー園や出島などを班別にまわり、長崎の歴史や文化を体験することができました。ハウステンボスでは、自由なメンバーと行動し、巨大テーマパーク内を、存分に楽しむことができました。

自分の足で歩き、実際に目でみて、その土地の空気を感じ、自分を振り返る充実した研修となりました。この研修を通して学んだことを今後の人生にいかして、歩みを進めていってくれることを学年会一同願っています。

(中3学年会)



高1遠足

私たち高校1年生は、10月7日に待ちに待った遠足でアクアスに行きました。バスの中では音楽を流したり、映画を見たりして楽しむことができました。アクアスではシロイルカのパフォーマンスを見たり、珍しい生き物を見ることができて、テスト前の良い気分転換になりました。その後は、近くにある石見海浜公園に行って写真を撮ったり、足だけ海に入ったりしている人もいました。先生方もキャッチボールをして楽しんでいました。午前中は小雨が降っていて心配でしたが、午後から



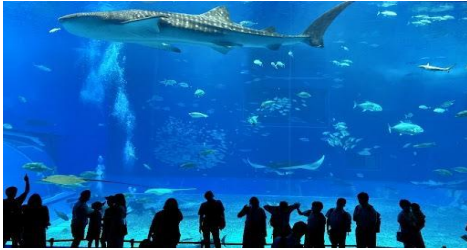
は天気が回復して海でそれぞれ楽しむことができました。また、アクアスの中でアイスを食べたり、お土産を買ったりしてみんな勉強の息抜きとして楽しんでいて、とてもいい思い出になりました。



(高1HR委員)

11th Grade High School Trip Report

This year the 11th Grade trip to Okinawa was held as scheduled. The students were excited and eager to resume a more normal school life. Our trip to Okinawa took us to emotionally powerful museums and locations like the Himeyuri Peace Museum and *Abuchiragama* cave where the realities of war were made clear. In addition to our field work studying peace, we also spent time enjoying the rich culture and nature of Okinawa. Some students participated in arts and crafts activities while others enjoyed marine sports. By the end of each day our minds and bodies were exhausted from all we had learned and done. Thanks to the hard work of all the teachers, travel agents, and photographers, the trip was a success. Lastly, nothing would have been possible if the students had not cooperated and acted so maturely during the trip.



11th Grade Faculty
October 4th to 7th

今年の高2沖縄修学旅行は予定通りに実施されました。生徒たちはコロナ前の学校生活に戻りつつあることに喜びを隠さないようでした。沖縄ではひめゆり資料館やアブチラガマなどをめぐり、感情が揺さぶられただけでなく、戦争の現実がより鮮明に迫ってきました。平和学習に加え、沖縄の豊かな文化や自然に触れることもできました。体験学習ではマリンスポーツほかシーサー作りや伝統菓子作りに励みました。旅行中は毎日心も体も精いっぱいフル活用し、一日が終わるところには見るもの聞くもの学ぶもの、すべてによってみんなクタクタでした。旅行の企画に携わった教員、旅行代理店ほか多くの皆さまのおかげで充実した旅行となりましたが、なによりも、生徒自身が協力しあい、きちんとした振る舞いをしてくれたからこそ、実り豊かなものとなりました。



高3遠足 みろくの里

学校生活最後の遠足、行先は『みろくの里』です。思いっきり満喫したいと願っていたのに、到着したら生憎の雨模様。ちょっと肌寒い気温で乗り物の座面は濡れていましたが、もう濡れても構わない！とばかりに元気いっぱいに園内に散らばって行き、思い思いのアトラクションを楽しみました。残念ながらジェットコースターは午前中雨



のため運休していましたが、乗りたいという願いが届いたのか、午後から雨が上がり運転開始のアナウンスがかかると、乗り場に長蛇の列ができていました。日ごろの受験勉強の日々にちょっとした発散タイム。とても良い気分転換になったようです。



(高3学年会)

最終下校時刻変更のお知らせ

最終下校時刻は、11月4日(金)より、中学生は17:30、高校生は18:00となります。ご家庭で帰宅時間の確認をお願いします。

(中学・高校生徒会)



保健室だより (6)

保健室には、体や心に関する本を置いています。この頃中学生が多く手に取る本は、自律神経に関するものです。

自律神経とは、暑い時に汗をかいたり、運動した時に心臓の拍動を速めたり、食事をした時に消化液を分泌させたりなど、生命活動に必要な無意識の活動をコントロールしているものです。自律神経には、心身の活動を活発にする交感神経と、リラックスさせる副交感神経があり、2つはバランスをとりながら働いています。しかし、この自律神経のバランスが乱れると、めまいや頭痛、冷えや腹痛などの体のあちこちに不調が起こります。また、副交感神経優位が続くと、無気力状態になることもあります。

自律神経のバランスを保ちしっかりと働いてもらうためには、日々の生活のリズムを整えることが大切です。①朝日を浴びる ②1日3食 ③ぬるめのお湯で入浴 ④寝る前はパソコンやスマホの光を浴びない ⑤十分な睡眠

朝晩ぐっと冷え込んできましたので、寒さによる自律神経の乱れも増す時期です。冷えに弱い子が多いですので、学校でできる寒さ対策も考えてみてください。

9・10月に2学期の身体測定を行いました。結果はお子さまにお渡ししていますので、4月からの成長をご確認ください。

(保健室)

心の健康 (6)

E-eating・食事を大切にしよう

食べることは人間が活着ていることへの基本です。食べることで身体が成長し、健康が維持され、そして心が潤います。身体と心は相互関係にあるので、ほど良く食べると心も落ち着きます。心配ごとがありストレスがかかると食べられなくなったり、やたら食べ過ぎてしまったりします。

1日の食事回数については、朝・昼・夕の3食になったのは江戸時代からで、鎌倉時代までは1日2回だったそうです。皆さんはどの時代の食事スタイルですか？

食事は身体への栄養補給だけでなく、人は誰でも美意識を持っているので、食べ物のきれいな色や香りや匂い、甘味、旨味などから喜びや安らぎ、満足感を得ます。

毎日の生活の中で、食事に心配りし、工夫することはストレス解消にもなります。

(カウンセラー)

生徒の活躍

◇中学合唱部

第61回中国合唱コンクール(9月25日)銀賞

◇高校音楽部

第61回中国合唱コンクール(9月24日)銀賞



◇第 44 回広島県高等学校音楽コンクール
ピアノ部門 最優秀賞 3-E H. J

◇高校水泳部

広島県高等学校新人水泳競技大会（9月24日（土）、9月25日（日））

・リレー種目（4×200 フリーリレー）7位

2-B N. K、2-A T. K、2-E K. K、2-B T. K

・リレー種目（4×100 メドレーリレー）8位

2-B N. K、2-B T. K、2-E K. K、2-A T. K



今月の聖句

神は、一人の人からすべての民族を造り出して、地上の至るところに住ませ、季節を決め、彼らの居住地の境界をお決めになりました。これは、人に神を求めさせるためであり、また彼らが探し求めさえすれば、神を見いだすことができるようにということなのです。

（使徒言行録 17 章 26～27 節）

イエスは「神を愛すること」と「隣人を自分のように愛すること」はつながっているとされています。今朝の聖書の言葉の「神」を「隣人」に置き換えてみましょう。

「神は、一人の人からすべての民族を造り出して、地上の至るところに住ませ、季節を決め、彼らの居住地の境界をお決めになりました。これは、人に『隣人』を求めさせるためであり、また彼らが探し求めさえすれば、『隣人』を見いだすことができるようにということなのです。」

様々な国や民族、また同じ国の中にも様々なルーツや背景を持つ人がいるのは、その違いによって対立するためではなく、その違いを分かち合って共に生きる『隣人』となるためなのです。

（10月20日 中学放送礼拝より）

11月の行事予定

1	火	
2	水	文化祭準備日(授業なし) (中3、高1・2出校日)
3	木	文化の日 文化祭
4	金	最終下校時刻変更 中17:30 高18:00 振替休日(11月3日(木)) 高3駿台ベネッセマーク模試
5	土	高3駿台ベネッセマーク模試(午後) (L・総)
6	日	
7	月	面接週間(40分授業) 高1・2進研記述模試
8	火	
9	水	[NC]
10	木	
11	金	
12	土	高3全統共通テストプレテスト(希望者)
13	日	
14	月	キリスト教強調週間
15	火	特別プログラム(授業なし)
16	水	[NC][EP]
17	木	
18	金	
19	土	45分授業 選択科目1号用紙提出 キリスト教強調週間特別礼拝 ニュース検定 (総)
20	日	
21	月	水曜授業 [NC][EP]
22	火	45分授業 高1・2スピーチコンテスト(7限～)
23	水	勤労感謝の日 広島県高等学校キターザントリンフェスティバル
24	木	
25	金	
26	土	(L・総)
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります

